

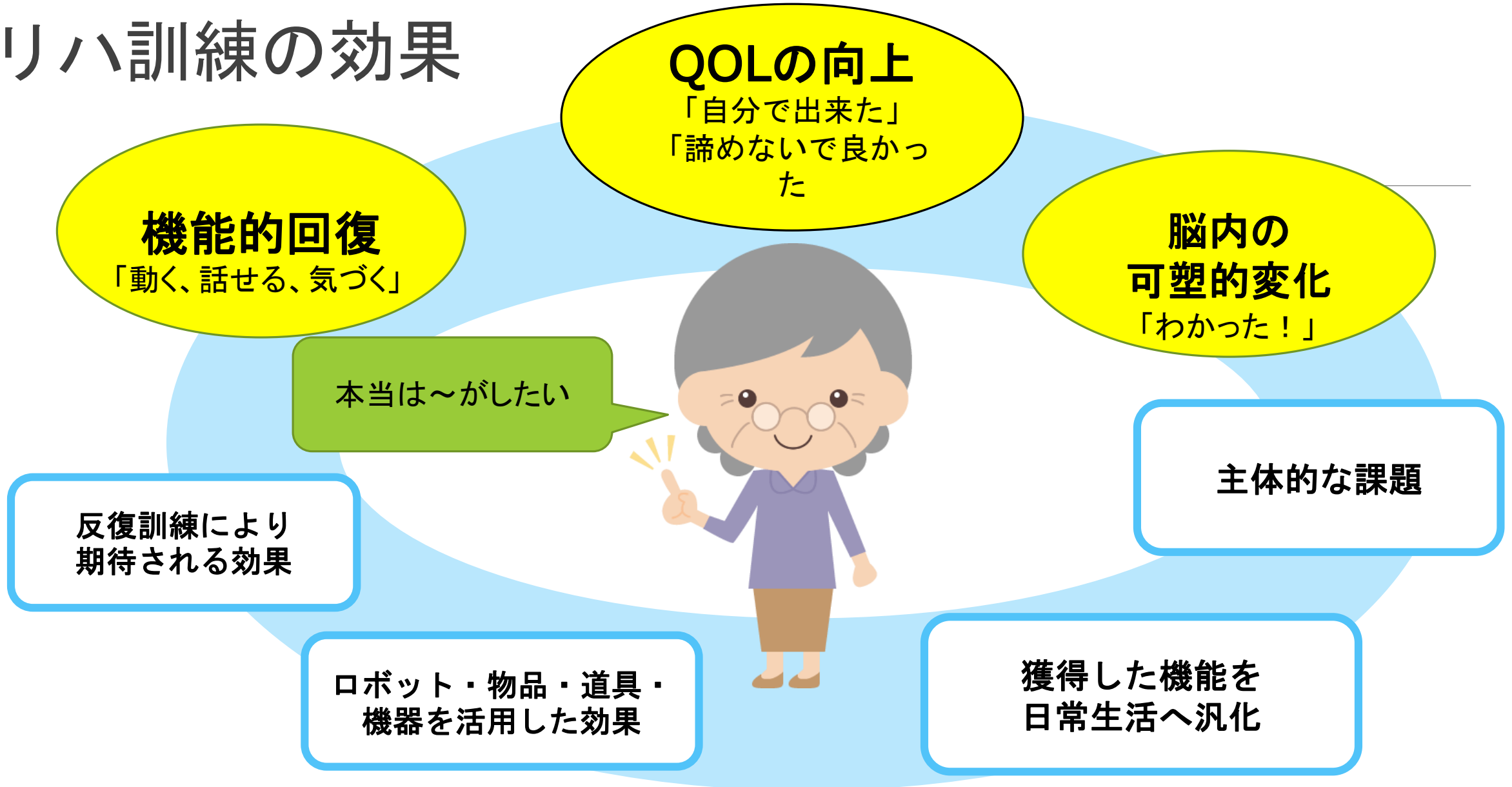
目的指向リハビリテーション 目標指向リハビリテーション 課題志向リハビリテーション

医療法人相生会 福岡みらい病院

リハビリテーション科

佐久川明美

リハ訓練の効果



運動麻痺

感覚障害

使用しない麻痺手
(非麻痺側のみでの生活)

「右手で箸を持って食事をしたい！」

他者が動かしている右手
自分で動かす右手へ

必要な機能訓練

獲得した機能を
日常生活へ汎化（道具）

「できる！」
成功体験（報酬）

実用手の獲得

行動変容

目的指向リハビリテーションアプローチ

治療的アプローチ：機能回復、合併症予防

活動的アプローチ：健常機能の強化、代償機能の獲得、対人技能の向上、新しい方法の習得、能力の定着

参加的アプローチ：職業復帰、家族指導、趣味などの社会参加、教育機関支援、介護保険活用、各種制度の情報提供、関連機関との連携

心理的アプローチ：心構えと知識、家族指導、価値観の転換

実践的な自主トレーニングプログラムを作成・指導する

具体的なリハ・プログラムの作成

生活背景と本人の希望・価値観の把握

希望する事の達成方法検討・優先順位

QOL > ADL

意志表出最優先

必要な機能回復訓練

自助具・装具・福祉機器の選定導入
環境設定

自覚できる変化をつける

意欲 > 安全

リスクを減らす支援

自立出来ない事を訓練で経験

自立出来そうな事は自主トレ

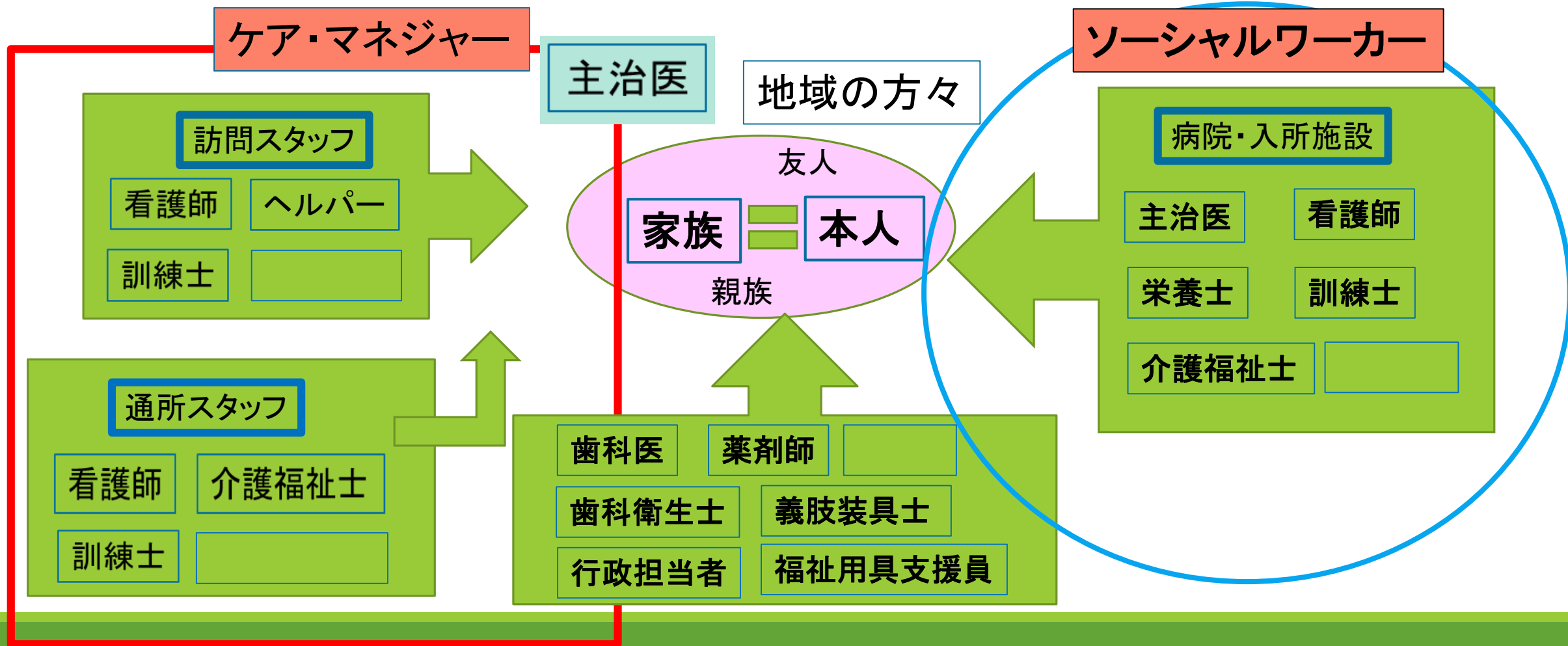
人的支援・制度利用

生活スタイルの決定

物的支援・環境設定

時間の経過や気持ちの変化で変動する・・・その時々が一番をフォローする

誰が何をするのか？職種役割分担



プロフェッショナルとしての連携 ～お互いを知ること～

医師： 全身管理、疾患の診断・治療、チームリーダー

歯科医師： 口腔診断・治療、咀嚼嚥下機能の精査・加療

看護師： 全身チェック、看護・医療処置、心的支援

薬剤師： 調剤、処方薬の効果判定・副作用確認、処方助言

栄養士： 栄養評価・管理、栄養補給の具体的対策

訓練士： 運動機能評価・訓練、認知高次脳機能評価・訓練、コミュニケーション機能評価・訓練、
摂食嚥下機能評価・訓練、心肺機能評価・訓練、生活再建支援

介護職： 衛生・清潔の確保、ケアコーディネート

ワーカー： 生活背景の把握、制度などの情報提供、多職種・施設間マネジメント

ケアマネージャー： ケアプラン作成、多職種・施設間連携マネジメント

歯科衛生士： 口腔管理、摂食咀嚼支援

義肢装具士・福祉用具支援員： 失った機能の代償、物的環境調整支援

介護保険施設、障がい者基幹相談支援センター、地域包括支援センター等地域のいろんな施設の活用も役立ちます

＜リハビリテーションの目的＞ 生きていて良かった！と感じる生活

入院期：機能回復＞能力向上

もっと改善する方法は無いかな？

生活期：機能回復＜能力向上

できる工夫・方法はないかな？

終末期：苦痛の除去

悔いはないだろうか？